

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【公開番号】特開2002-57580(P2002-57580A)

【公開日】平成14年2月22日(2002.2.22)

【出願番号】特願2001-188029(P2001-188029)

【国際特許分類第7版】

H 0 3 M 1/10

【F I】

H 0 3 M 1/10 A

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月29日(2003.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アナログ/デジタル(A/D)コンバータにより、  
アナログ信号をデジタルサンプル値に変換するステップと、  
少なくとも1つ以前のデジタルサンプル値を使用して、訂正されたデジタルサンプルを生成するステップとを有することを特徴とするアナログ信号をデジタル形式に変換する方法。  
。

【請求項2】

前記調節するステップは、  
前記A/Dコンバータが、飽和したことに応じて、前記訂正されたデジタルサンプル値を生成するステップを含むことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記調節するステップは、  
前記デジタルサンプル値から振幅を決定するステップと、  
(B3) 前記振幅を使用して、前記訂正されたデジタルサンプル値を生成するステップとを含むことを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記調節するステップが、  
振幅推定サイクルにおいて、前記デジタル信号値から信号周波数を決定するステップと、  
前記デジタルサンプル値および前記信号周波数から振幅を決定するステップとを含むことを特徴とする請求項3記載の方法。

【請求項5】

アナログ入力信号をデジタル形式に変換するためのアナログ/デジタルコンバータ(A/D)システムにおいて、  
前記アナログ入力信号を受信し、デジタルサンプルを生成するA/Dコンバータと、  
少なくとも1つの以前のデジタルサンプル値を使用して、訂正されたデジタルサンプル値を生成するように構成された処理回路とを有することを特徴とするシステム。

【請求項6】

前記処理回路は、前記A/Dコンバータが飽和したことに応答して、前記訂正されたデジタルサンプル値を生成するように構成されていることを特徴とする請求項5記載のシステ

ム。

【請求項 7】

前記処理回路は、前記デジタルサンプル値から振幅を決定し、かつ前記振幅を使用して前記訂正されたデジタルサンプル値を生成するように構成されていることを特徴とする請求項 7 記載のシステム。

【請求項 8】

前記処理回路は、振幅推定サイクルにおいて前記デジタル信号値から信号周波数を決定し、前記デジタルサンプル値および前記信号周波数から振幅を決定することを特徴とする請求項 7 記載のシステム。

【請求項 9】

前記処理回路は、複数の振幅推定サイクルにおいて前記振幅を決定することを特徴とする請求項 8 記載のシステム。

【請求項 10】

前記処理回路は、複数の振幅推定サイクルの後に振幅値を予測し、前記訂正されたデジタルサンプルを生成するために前記予測された振幅を使用することを特徴とする請求項 9 記載のシステム。